

女性部会・青年部会コーナー

租税教室に参加して

高木美幸 高重鋼材(株)

かつて、私は低学年対象のクイズフェスタでクイズタイムの司会をさせていただきました。そして、今回は、それとはまったく違う、あと数か月で中学生になる6年生の生徒を前にして、税の専門家ではない私たちに、はたして講師を務まるのかと、最初はみな緊張した面持でした。

まず初めに、救急車の絵を黒板に張り付けて「みなさん、この救急車を呼ぶのに日本ではお金がかかりますか？」と問いかけてのスタートでした。この問題に対して、生徒の反応が大変良く、それから先はスムーズに時間内に講義を終わることができました。みなさんが毎日通っている小学校のすべての備品、教科書、先生のお給料まで税金で賄われているという身近なところから、国民みんなが納税している大切な税金は、一度都道府県の税務署を経由して国の機関の財務省に集められて、その配分は国会で話し合われて、そこで決めたように国民の生活のために使われる流れになっている。たいへん難しい複雑な内容を、クイズを織り交ぜ

ながらの講義は、生徒が理解を深めていただくのによかったと思いました。しかし、先生の立つ教壇に立たせていただくのですから、私たちも税金の仕組みをしっかりと勉強して、何より税金の大切さを充分理解して生徒に伝えなくてはならないと強く感じました。

私は、今まで法人会の一員として役に立っているのかをあまり強く感じたことはありませんでした。しかし、租税教室に参加して、これから将来、税金を納めていくであろう子どもたちに税金の大切さをじかに話をさせていただける機会をいただき、これこそ法人会の存在の大きな使命だと強く感じました。

終了後、事務局を交えて全員で反省会をもちましたが、今後この活動を大切にしていき、もっと頑張っていきたいと、皆さんも同じ意見でした。

※租税教室開催日

女性部会 12月12日(火)浜松市立蒲小学校

青年部会 12月15日(金)浜松市立和田小学校

